

取組の目的

- 会員の皆さまからグリーンインフラに関連する取組事例(グリーンインフラ大賞)、技術・資金調達手法を幅広く募集します。
- 優れた取組事例は、グリーンインフラ大賞として選定し、広く情報発信を行うため、WEBサイト等で公開します。
- グリーンインフラに関する技術・資金調達手法は、技術等の研究に活用するとともに、WEBサイト等で公開します。
- これらを通じ、多様な主体が積極的に取組むグリーンインフラを推進します。

募集する取組事例、技術・手法

募集するグリーンインフラ大賞の区分

※第1回グリーンインフラ大賞に応募いただいた事例についても再応募が可能です。

募集する技術・資金調達手法の区分

分野	取組事例の応募部門			
部門	部門Ⅰ 雨水貯留・浸透等による気候変動対策、防災・減災に関する取組	部門Ⅱ 戦略的な緑・水の活用による豊かな生活空間の形成	部門Ⅲ 官民連携等による投資や人材を呼び込む都市空間の形成	部門Ⅳ 豊かな自然環境、生態系の保全・創出による地域振興、地域環境の形成に関する取組
例	 仙台商ふるさとの杜再生プロジェクト	 中間支援組織がつなぐ狭山丘陵広域連携事業 守谷市官民連携による戦略的グリーンインフラ推進プロジェクト	 Marunouchi street park 2020	 「コウノトリ野生復帰」をシンボルとした自然再生
主な主体	公共団体 等	地域住民、NPO 等	民間都市開発事業者 等	地域住民、NPO 等
主な実施場所	都市部の公共空間(道路、公園、校庭の庭)等	都市部の公園、空地、河川、農地、住宅地等	都市部	地方部、郊外、里山 等
主な事業種別	整備事業 (維持・管理含む)	維持・管理事業 (整備含む)	整備事業 (維持・管理含む)	維持・管理事業 (整備含む)

区分	内容
推進・計画 設計技術 (広報・啓発)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラを推進するにあたり、政策・施策立案の技術、効果を高めるための技術を組合せた技術、グリーンインフラ導入後の維持管理の段階で活用可能な技術等 ・グリーンインフラを推進するための体制づくりに関する工夫点や事例、及びグリーンインフラに関する取組をマネジメントした事例 ・グリーンインフラに関する取組を促進するため、取組に対する合意形成や参画促進を図るために実施した住民等への啓発手法及び取組を周知するために実施した広報手法等
要素技術	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が持つ多様な機能を活用している技術、もしくは自然が持つ機能を活用することでインフラが本来有する機能の向上を促す技術等
評価手法	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラの導入効果を計測、もしくは推定するための評価技術等 ・グリーンインフラの導入効果の評価項目として、個々の評価項目(防災・減災、自然環境、健康、経済、コミュニティ等)を用いた総合的な評価技術
資金調達手法	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラの取組にあたり、事業費や維持管理のために創設・実施及び活用した資金調達手法

※推進・計画設計技術、評価手法については、IT・IoT技術、ビッグデータを活用した技術についても募集

第2回グリーンインフラ大賞、技術・資金調達手法の募集 応募の流れ

応募方法

- 所定の応募様式に必要事項を記入しご提出ください。応募種別により、提出いただく様式や、記載項目、提出資料が異なります。下記の提出資料をご参照ください。

グリーンインフラ大賞（グリーンインフラに関する取組事例）

グリーンインフラに関する技術・資金調達手法の応募方法

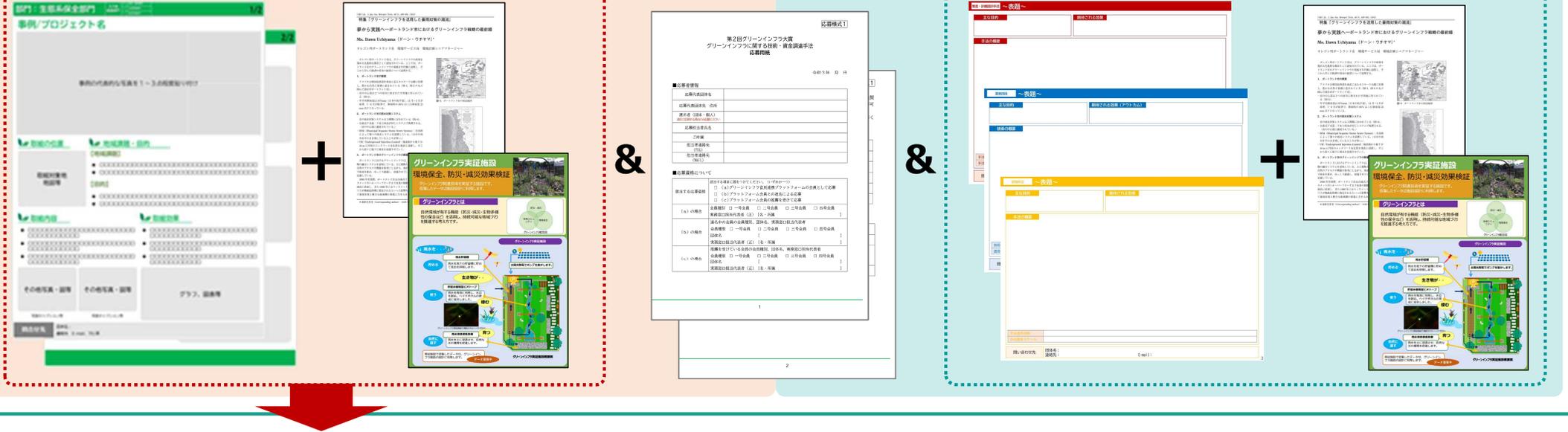
応募フォーマット (ポスター用資料)

補足説明資料※様式なし (論文・パンフレット等)

共通 応募申し込み用紙 (word)

応募フォーマット (ppt)

参考資料 (論文・パンフレット等)



GI大賞の選考と表彰までの流れ (予定)

1次審査

書類審査

企画・広報部会の部会長・部会幹事等による審査（ポスター資料等による書類審査）を予定。



2次審査

ポスターセッション

1次審査を通過した事例について、ポスター資料をWEBサイト上に掲示し、会員の投票等による審査を予定。
※部門別の受賞者を選定



最終審査

最終プレゼンテーション (動画)

2次審査を通過した事例について、応募者によるプレゼン（動画）等を実施し、会員の投票等による最終審査を予定。
※部門別の大賞・優秀賞を選定



第2回グリーンインフラ大賞、技術・資金調達手法の募集 スケジュール等

応募の資格

- 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員であること。
- 応募時点で会員でない場合は、必ず9月30日までにグリーンインフラ官民連携プラットフォームHPより会員登録を行ってください。連名で応募する団体、個人も対象です。

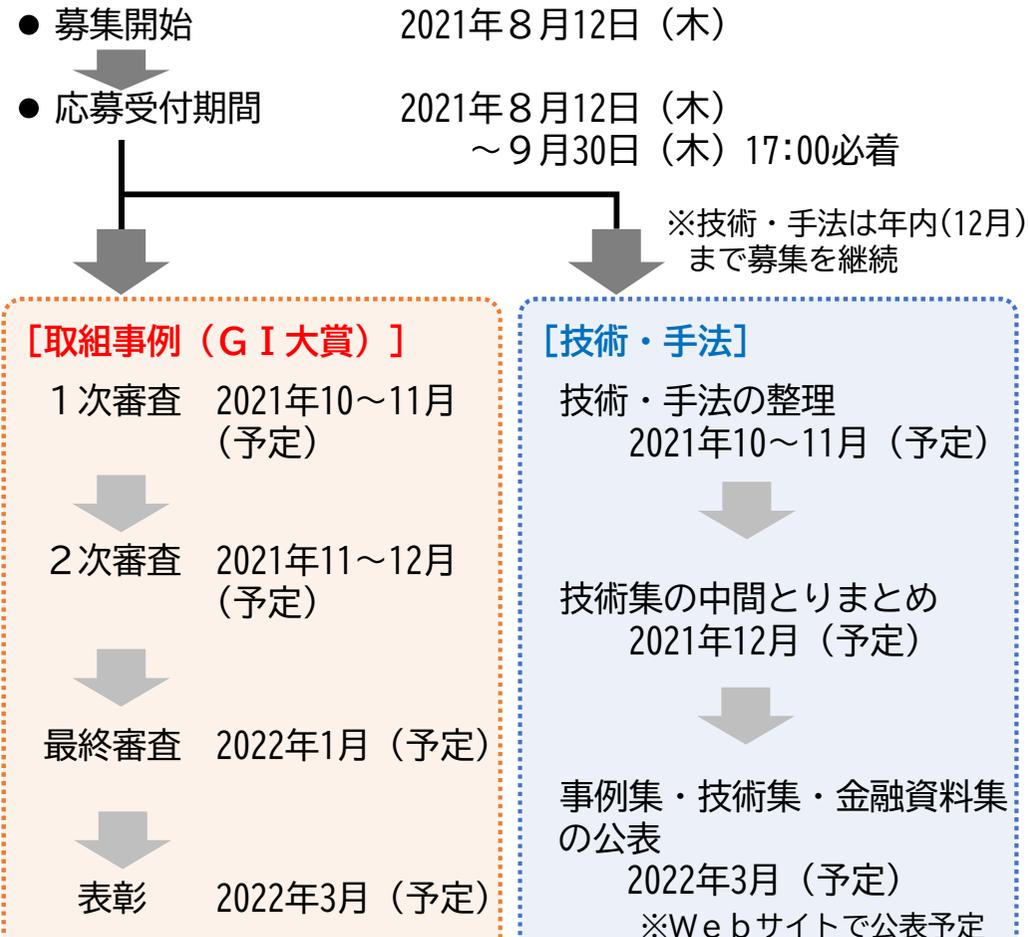
- <会員登録>
「グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイト」
<https://gi-platform.com/>



GI大賞に関して

- 審査に関しては、特に以下の視点で評価します
①地域の課題を解決、②関係者（官民、組織内、地域）と連携、
③自然が有する多様な機能を活用し効果を発揮、④効果を発揮させるための工夫（人材育成、維持管理等）、⑤面的な取組
⑥上記を実施するための計画を策定する上での工夫 等
- 応募いただいた取組事例は、企画・広報部会等からのコメントを応募者にお伝えいたします
- 来年度以降も、新たな取組や工夫を追加していただき再応募していただけます
- 事例集を作成する上で今後の取組の参考となる資料も収集します
〔例〕取組にいたる経緯、実現しなかったが検討した計画、工夫したがうまくいかなかった点、期待していない効果を発揮したもの 等
- 広く事例を収集するため、GIに取り組んでいる事業者や地方公共団体の他部署への展開等ご協力よろしく申し上げます

スケジュール



問い合わせ先（当プラットフォーム事務局）

（運営委託会社）
株式会社創建 所、柳澤
TEL：03-6809-1781

green-infra@soken.co.jp

国土交通省総合政策局環境政策課
和田、末原(すえはら)、大上(おおうえ)
TEL：03-5253-8111（内線24332、24334、24423）
FAX：03-5253-1550
E-mail：hqt-green-infra@gxb.mlit.go.jp